取扱説明書

M形埋込み形照明器具・高調波ガイドライン適合品

保管用

yamada

蛍光灯ダウンライト

（天井埋込み専用・一般屋内用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品番	適合ランプ	最大送り容量	適合電線	使用電圧
DF-2622 DF-2623	蛍光ランプ FHF32 W × 6	15 A	VVFケーブル φ1.6、φ2.0	AC100V～242V （±6%）

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

⚠警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❗ 電源の送り容量は最大１５Ａです。必ず１５Ａ以内で使用してください。
★最大容量を越えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

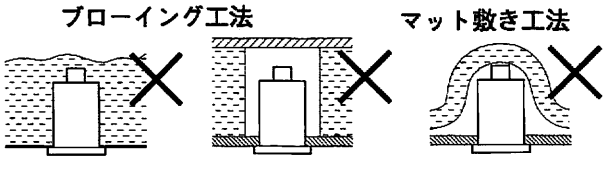
❗ 必ずＶＶＦφ1.6またはφ2.0の単線のケーブルを使用してください。
★指定以外のケーブルを使用すると接触不良による過熱によって火災になる場合があります。

❗ 端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線を正しく挿入してください。
★曲がった線やよれた線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。

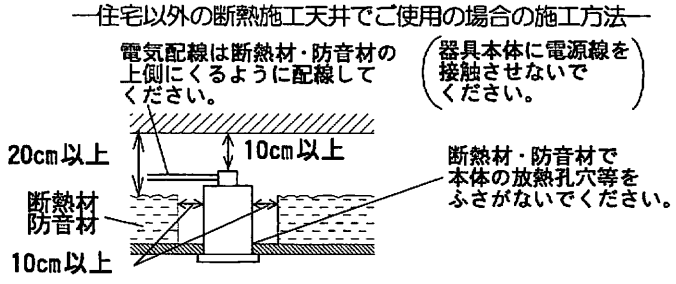
❗ 器具の取り付け部以外の外郭（可動範囲含む）が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備に触れないように施工してください。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 天井埋込み専用です。壁面など天井以外の場所や傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による熱損事故の原因となります。
住宅の断熱施工天井には使用できません。
★ブローイング工法・マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。



―住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法―



⃠ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ ＡＣ１００Ｖ～２４２Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖ～２４２Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
高い電圧で使用すると、不点灯やチラツキなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度５℃～３５℃で使用してください。
★過熱して発煙や火災の原因となることがあります。

⃠ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や、調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

⚠警告

必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注意

温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

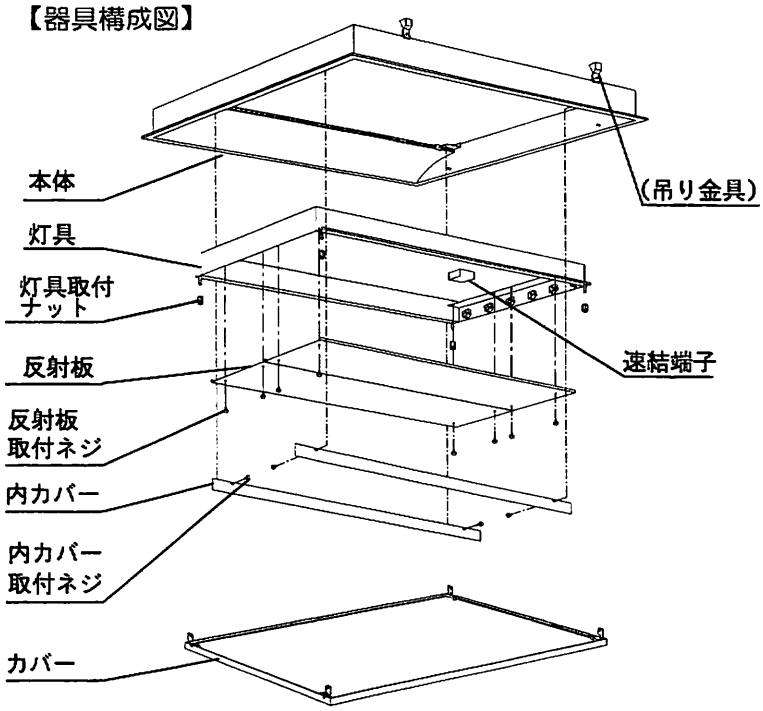
点灯中や消灯直後の電球、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
★雑音や誤動作の原因となります。

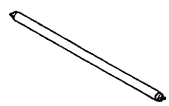
各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付 属 品】



ランプ
FHF 32W (蛍光色)
・・・・・6本

吊り金具
・・・・・4個

取扱説明書 (本書)
・・・・・1枚

保証とアフターサービスについて ・・・・・1枚

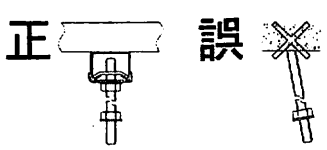
取り付け場所の確認

⚠警告

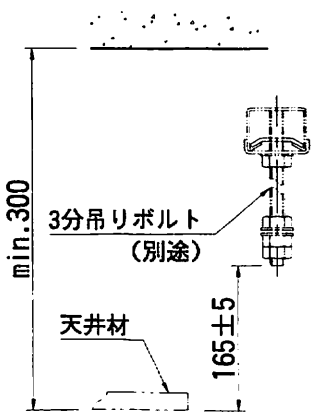
器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に

1. 取付け作業上、天井裏高を最低３００㎜確保してください。
2. 取付ボルトはレースウエイ等を使用して必ず垂直に 降ろしてください。

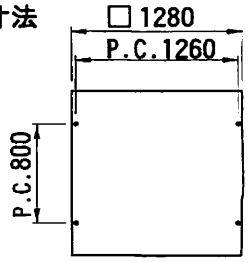


3. 取付ボルトの長さを調節してください。
天井面からボルトの先端まで
165±5㎜ です。



4. 天井切り込み穴および取付ボルト位置を確認してください。

天井切込み穴寸法
ボルトピッチ

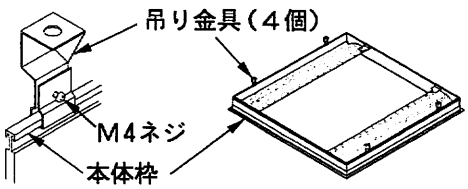


取り付け方　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

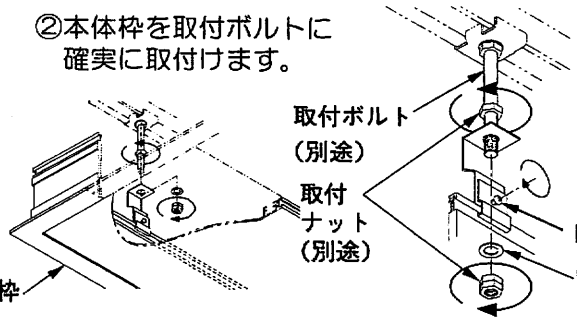
⚠警告❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 本体枠を天井に取り付けます。

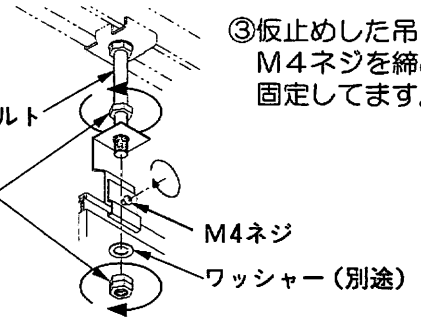
①取付けボルト位置に合わせ、
本体のレールに吊り金具を仮止めします。



②本体枠を取付ボルトに
確実に取付けます。

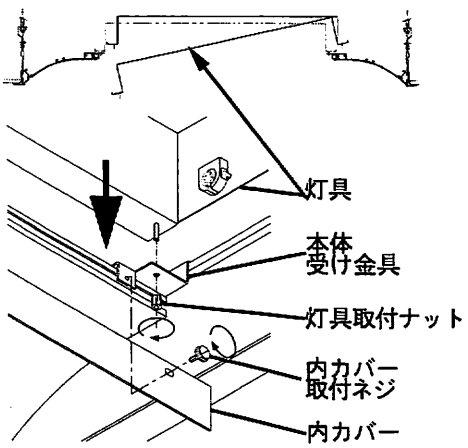


③仮止めした吊り金具の
M4ネジを締めて
固定してます。



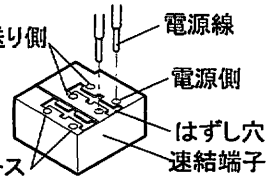
2. 灯具を本体枠に取り付けます。

本体四隅の受け金具に灯具を落しこみ、
ナット（4個）で固定します。



3. 電源線を接続します。

①電源線を速結端子のゲージ（12mm）に合わせ剥きます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、ドライバーの先を
はずし穴へ 真っ直ぐ押すとはずれます。
③アース線をアース差し込み穴に差し込みます。



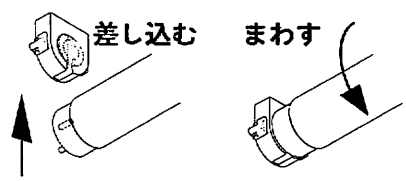
⚠警告

❗器具にはD種(第3種)接地工事を行ってください。
★アースが不完全な場合は、火災や感電事故の原因となります。

❗端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

4. 反射板をセットします。

反射板取付ネジで反射板を
取り付けます。



5. 内カバーをセットします。

本体四隅の受け金具に内カバー取付ネジで
取り付けます。（各2箇所）

6. ランプをセットします。

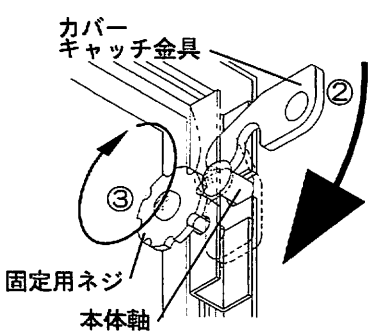
ランプをソケットに差し込み、９０度回します。

⚠注意❗ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

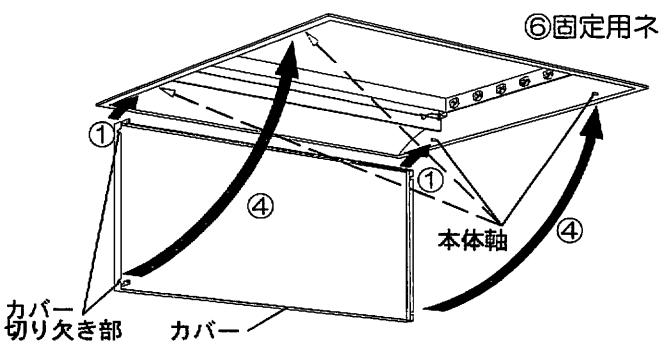
7. カバーをセットします。

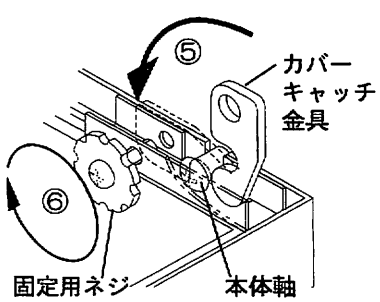
⚠注意❗ **カバーは重量物なので取付作業は必ず２人で行うようにしてください。**
★落下による傷や破損の原因となります。
❗ カバーを取り付けるとき、アクリル部を押さないでください。
★傷や破損の原因となります。

①カバー切り欠き部を本体軸に引っかけます（2ヶ所）。
②カバーキャッチ金具を本体軸に引っかけ、
③固定用ネジで固定します（2ヶ所）。



④カバーを引き上げ、切り欠き部を本体軸に
合わせいれます（2ヶ所）。
⑤カバーキャッチ金具を本体軸に引っかけ、
⑥固定用ネジで固定します（2ヶ所）。





スイッチ操作

壁スイッチにて「ON－OFF」操作を行います。

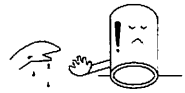
お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を　：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**



●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

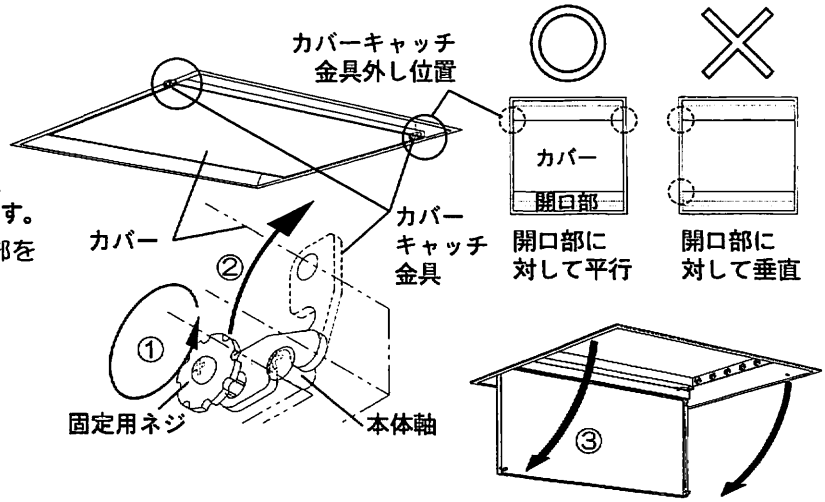
1. スイッチを切ります。OFF

2. カバーをはずします。

⚠注意 ❗ **カバーは重量物なので取付作業は必ず2人で行うようにしてください。**
★落下による傷や破損の原因となります。

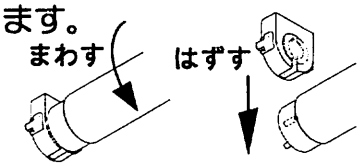
❗ カバーを取り付けるとき、アクリル部を押さないでください。
★傷や破損の原因となります。

①カバー裏側の固定用ネジを緩め
（2ヶ所・開口部に平行）、
②本体軸からカバーキャッチ金具を
外します（2ヶ所・開口部に平行）。**図参照**
③静かにカバーをおろします。



3. ランプを 交換します。

ランプを９０度回し
ソケットから
はずします。



4. ランプをセットします。

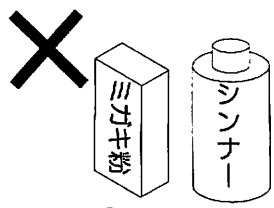
『取り付け方』の「6. ランプのセット」の項をご参照ください。

5. カバーをセットします。

『取り付け方』の「7. カバーのセット」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



■こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない。	ランプは確実にセットされていますか。 ランプが切れていませんか。新しいランプと交換してみてください。
ランプがすぐ切れてしまう。	天井内の断熱材・遮音材は器具から離して設置されていますか。 （この器具は断熱材・遮音材で覆っての使用はできません。）
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を充分拭き取ります。

★器具の交換については、販売店もしくは、最寄りの山田照明サービス窓口にご相談ください。
★該当項目をチェックしても、症状が改善されない場合には、山田照明サービス受付窓口までお問い合わせください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。